

♪ 国際音楽祭ヤング・プラハ in Tokyo コンサート 2014 ♪

恒例のヤング・プラハ東京公演の詳細が決まりました。今年は改装された銀座のヤマハホールにて開催いたします。

演奏家と聴衆が一体となって演奏を楽しめる素晴らしいホールです。

今年のヤング・プラハ本祭に出演したチューバの林君、トロンボーンの副島さんに加え世界で活躍中のヤング・プラハOB、OGが出演いたします。

イタリアからピアノのジュゼッペ・アンドロロ氏（仙台、ブゾーニ優勝）、ピアノの阪田知樹君（クライバーン最年少ファイナリスト）の二人でピアノデュオ。チェコからホルンのカテジナ・ヤヴールコヴァーさんとトランペットのルボミール・コヴァジーク氏、トランペットの田中泰子さん。林君と副島さんが加わり金管五重奏を編成して、エベン、イヴァイゼン、ドヴォジャーク、シャイトを演奏します。

ご案内状とコンサートチラシを同封いたしますので、是非ご来場いただけますようお願いいたします。



日 時：2014年11月25日(火) 19:00開演 (18:30開場)

会 場：ヤマハホール 〒104-0061 東京都中央区銀座7-9-14

入場料 5,000円 (全席自由席)



ヤング・プラハ・フレンズのご案内

「ヤング・プラハ・フレンズ」は国際音楽祭ヤング・プラハの活動を通して若い優秀な演奏家の成長を支援しています。

ヤング・プラハを経験した若い演奏家たちは、ヴァイオリンの神尾真由子(2001年参加)、ピアノの上原彩子(2002年参加)、ピアノのジュゼッペ・アンドロロ(2005年参加)をはじめ、世界の名だたるコンクールでも活躍し、ヤング・プラハでの経験を糧にますます芸術の高みを目指しています。

フレンズの種類	年会費 (1~12月)
個人会員	一口 10,000円
家族会員 (個人会員のご家族)	一口 5,000円
法人会員	一口 30,000円
特別会員 (ヤング・プラハ出演者)	3,000円以上 (但し出演から5年間は無料)

音楽祭は非営利団体として日本・チェコ両国の企業メセナと文化庁の支援、そして実行委員の献身的努力によって運営され、1992年より1年も休まずに続けてまいりましたことは、奇蹟といって過言ではありません。しかし昨今の世界的経済不況により運営が危機的状況でございます。この意義ある音楽祭の持続的な発展のために、フレンズの皆様には引き続き暖かいご支援を賜りたく、本年度の継続をお願い申し上げます。また、お知り合いの方々にもご入会をお誘いいただければ幸いです。ご入会はホームページからもお申し込みいただけます。

(<http://www.youngpraha.jp/>)

ヤング・プラハ・フレンズの皆様には、活動の様子をご報告する会報をお送りしています。またご支援への感謝を表して、ご支援者様の氏名を音楽祭プログラムに印刷させていただいております。



国際音楽祭ヤング・プラハ通信

第20号

国際音楽祭ヤング・プラハ日本実行委員会
 事務局：〒244-0081 神奈川県横浜市戸塚区品濃町558-1-102
 Phone: 090-5773-3122 安東 080-4330-5211 橋本
 Fax: 04-2994-2466
 Email: office@youngpraha.jp http://www.youngpraha.jp/

2014年10月18日 発行



皆様、今年の国際音楽祭ヤング・プラハは成功裏に終了いたしましたことをご報告いたします。

今年で23回目を迎えたヤング・プラハは9月5日から25日の会期で、プラハをはじめ各地で計14回のコンサートが開かれました。日本、チェコをはじめフランス、ドイツ、ポーランド、ハンガリー、スロバキア、イスラエルそして韓国の9か国から8名のソリスト、指揮者、ピアノトリオ、デュエット、混声合唱団が招待されました。日本からはトロンボーンの副島理世さん、チューバの林裕人さん、私が審査委員長としてたずさわってきた第3回高松国際ピアノコンクールの優勝者、韓国のムン・ジヨンさんが参加しました。

24日のポーランド大使館ホールは天井のとても高い気品あるホールで、チューバの林さんは会場の響きを上手く生かして曲の面白さを見事なテクニックで表現されました。ヴァイオリン(フランス/ポーランド)のZavaroさんはブラームス、ヴェニエアフスキ、それにご自身のお父上の作品を、Sekeraさんの素晴らしいピアノにサポートされながら、それぞれの作品の個性を見事に表現し、大変のびのびした演奏を聴かせて下さいました。演奏者と観客が一体となり雰囲気も演奏も素晴らしいコンサートでした。

25日のファイナルコンサートは例年通りドヴォジャークホールで行われました。チェコを代表するホールでチェコフィルの本拠地です。チューバのソロ演奏はヤング・プラハでは初めてのことで、日本人がここでチューバの協奏曲を演奏するのも恐らく初めてのことでしょう。オーケストラの中でも最低音担当という楽器ですが表情豊かな音色、バラエティーに富んだ見事なテクニックには聴衆皆が驚かされたと思います。奏者のセンス豊かな音楽インテリジェンスを感じさせられるとても気持ちの良い演奏でした。

ムン・ジヨンさんはベートーベン作曲ピアノ協奏曲第4番を演奏しました。この曲は私が希望したものです。第一楽章の出だしから第三楽章の滴が飛び跳ねるような軽快なタッチ、あけっぴろげで朗らかな希望に満ちた演奏と、高松のコンクールから半年経ち彼女の音楽がさらに進んでいることを実感し、大変嬉しく思いました。

国際音楽祭ヤング・プラハ日本実行委員会 会長 岩崎 淑



日程の都合上、今年はポーランド大使館とファイナルコンサートの二つしか聴けませんでした。ワルトシュタイン宮殿ホールのオープニングコンサートでは、副島理世さんがトロンボーンで素晴らしい演奏をされたと聞いています。このホールは天井が高く美しく装飾された空間で音響も素晴らしいところです。彼女の演奏を聴けなかったのは残念です。レセプションには、駐チェコ山川大使閣下夫妻、名誉会員のチャスラフスカ様、クーベリック様、毎年支援していただいている日系企業のスポンサーの方々が多くご参加いただき、楽しい賑やかなパーティーとなりました。今年はチェコ文化省をはじめ、日本、チェコ両国で新たに多くの組織と企業からご支援を戴きました。日本チェコ両国の運営に携わっていらっしゃるの方々、多くのご支援を戴いている企業、団体の方々、在チェコ日本国大使館の方々にご心よりお礼を申し上げます。

なお11月25日(火)に銀座のヤマハホールで、国際音楽祭ヤング・プラハin Tokyo コンサート 2014の開催を予定しております。今年のチェコ本祭でのソリストである林さん、副島さんに加えヤング・プラハOB、OGが参加してくれることとなっております。是非皆様お誘いあわせの上、お出かけ下さい。

今年は、9月5日から9月25日にわたって、プラハとチェコ各都市等で演奏会が開催されました。



オープニングコンサート in チェコ上院ホール



JAZZ コンサート in アリアホテル



Milotice 城ホール



ファイナルコンサート in ドヴォジャークホール

林 裕人 <ファイナルコンサート他 に出演>

私にとって初めてのチェコで、とても楽しみにしておりました。しかし、これまでの参加されてきたOBの皆様は現在世界中で活躍されている方ばかり、私が所属する名古屋フィルにもソリストでいらっしやったり、コンサートマスターでいらっしやるような方ばかり。今回果たして私でいいのであろうか、ましてや、チューバという楽器をチェコの皆様にどのように伝えようかととても不安でした。ソコ楽器としてはまだまだ発展途上のチューバをこのような素晴らしいホールでしかもコンチェルトの演奏ができたことは、チューバ史上初のことではないでしょうか。可能性に賭けてくださった岩崎先生をはじめ、委員会の皆様に感謝致します。

滞在中はとても委員会の方が良くして下さいました。私はHradcanskaのアパートに滞在しておりましたが、大家さんが温かく迎えて下さり、心置きなく練習もできました。

共演したソリスト、ピアニスト、指揮者も素晴らしく、かけがえのない経験となりました。帰国してオケの仲間に、音が変わったね！響きがすごく増えた気がする！とよく言われます。



ポーランド大使館、ドヴォジャークホールは日本のホールにはない素晴らしい響き方で、私にとって心地よく感じました。私の使うチューバもチェコのすぐ近くのドイツ、Markneukirchenで作られたものです。本来はこういう響きをする楽器なのかと感じました。ヨーロッパで演奏したあの響きを忘れずに、これからも演奏したいと思います。

これからもさらにこの音楽祭が発展していくことを心からお祈り致します。そして、また何らかの形で関われることを願い、この感想文を締めくくりたいと思います。全ての皆様に、ありがとうございました。

名古屋フィルハーモニー交響楽団 テューバ奏者

副島 理世 <オープニングコンサート他 に出演>

この度は第23回国際音楽祭ヤング・プラハにお招きいただき本当にありがとうございました。

9月10日～15日にかけて、ソリストとして5回出演させて頂きましたが、お城や宮殿という素敵な会場とその素晴らしい音響のおかげで、等身大の言葉で表現させて頂くと、毎回テンションMAX！で演奏させていただきました。

プラハから始まり、ホドニー→ミロティツエ→リトミシュルと三つ地方公演があり、最後はプラハ日本人学校で金管五重奏のメンバーとしても演奏させて頂き、この盛りだくさんの演奏旅行を終えたわけですが、初めてのチェコでこのような素敵な演奏の機会に巡り合えたことに感謝の気持ちがあふれ、とても嬉しく、思い出すたびに笑顔がこぼれます。

また、トロンボーン奏者としての将来のビジョンがこの音楽祭に参加したことで以前より明確になり、『オーケストラに所属し、並行してソロ活動を精力的にやろう』という思いが強くなりました。



一度素晴らしい体験をしたら、そこから更に細かくイメージを膨らませることができる私達の脳みそですが、この音楽祭での体験も例外なく私の脳への素晴らしい刺激になったのは言うまでもありません。本当に素晴らしい一週間でした。

いまドイツ・ベルリンに住み四年目になる私ですが、この音楽祭のように国籍関係なく音楽を通して人と深く共感し合い発展できる環境を、今度は私たち世代が支えられるように視野を広く持ちさらに学んでいきたいと思えます。

最後になりましたが、期間中手厚く支えて下さった実行委員の皆様、スタッフの皆様、何から何まで本当にありがとうございました。第23回になるというこの音楽祭がこれからもますます発展され多くの人に愛されることを心から祈っています。

ハンスアイスラーベルリン音楽大学在学中
トロンボーン奏者

ムン・ジョン <ファイナルコンサートに出演>

First of all, it was a great pleasure to me to play in the most beautiful concert hall.

(It was the first time in Prague for me and my mom, and we enjoyed our short stay very much.)

And I want to thank to Hermes Helfricht for his wonderful interpretation and I was so happy to play my favorite concerto with him in Dvorak Hall.

Also many thanks to Prof. Iwasaki and all the members of Young Prague!

まず初めに、このような素晴らしいコンサートホールで演奏できたことをとても感謝しております。

(プラハは母と私にとって初めての場所で、短いながらもこの滞在を大変楽しむことが出来ました。)

また Hermes Helfricht さんの素晴らしい指揮に感謝いたします。ドヴォジャークホールで彼と私の大好きな協奏曲を弾くことができたことをとても幸せに思います。

そして岩崎先生とヤング・プラハの皆様にご心からお礼申し上げます！



韓国芸術総合学校在学中 ピアニスト